# COUNT 関数の種類と基本的な使い方

No.excel:51

**COUNT 関数:数値が入力されているセルの個数を数える** PC クラブ 2025.05.21 使い方・利用シーン

COUNT 関数は、数値が入っているセルの個数を数える関数です。

例えば、こんなシーンで活用できます。

- 文字や記号が混在したデータから、数値の入ったセルだけの合計値を出したい
- 数値が既に入力されているセルの数を集計したい

#### 入力例

具体的な使い方を見てみましょう。ここでは、B3 セルから B9 セルまでの範囲で数値が入っている セルをカウントします。

 結果を表示したいセル D3 を選択し、「=COUNT(B3:B9)」と入力し 「Enter」キーを押します。





②数値の入ったセルの個数が表示されました。

### COUNTIF 関数:条件一致のセルの個数を数える

#### 使い方・利用シーン

COUNTIF 関数は、条件に合うデータの個数を数えてくれる関数です。 例えば、こんなシーンで活用できます。

- 顧客リストから男性会員の人数を数えたい
- 顧客名簿から東京都在住の人数を知りたい

#### 入力例

具体的な使い方を見てみましょう。ここでは、下の表の C3 セルから C13 セルまでの範囲で男性と 入力されているセルをカウントします。

1結果を表示させたいセルに、「=COUNTIF(C3:C13,"=男性")」と入力します。



②男性と入力されたセルの個数が表示されました。

. A	8	C	D	Ε
1				
2	年龄(註)	性別		
3	18	男性.		
4	21	<b>东生</b>		
5	63	安生		
6	6	<u>641</u>		
7	38	5.14		
8	34	使い泣		
3	47	84.		
10	30	5.1		
11	a	9.11		
12	72	利用答:		
12	50	男生		
14				
15	気性の人数			
16	5	1		
17				

IFS 関数:条件一致(複数)のセルの個数を数える

使い方・利用シーン

COUNTIFS 関数は、指定した複数の条件に一致するセルの個数を数えてくれる関数です。複数の「範囲」と「検索条件」を指定し、全ての条件に一致するセルをカウントできます。 例えば、こんなシーンで活用できます。

• 顧客名簿から、東京都に住んでいる 30歳以上の女性の数を算出したい

• 国語と算数の両方で80点以上とった人の数を数えたい

#### 入力例

具体的な使い方を見てみましょう。ここでは、下の表から東京都在住の 30 歳以上の女性を数えま す。

 結果を表示させたいセルに、「=COUNTIFS(B3:B13,"女性 ",C3:C13,">=30",D3:D13,"東京都")」と入力します。
(B3:B9=性別、C3:C9=年齢、D3:D9=居住地)

A 2546 (38)	<b>尼住地</b> 第二次 大阪市 二次の			
	512/5 718/7			
2	1043 108.F			
- 2	7.8.1			
- 6	1000			
E 3	福岡市			
2 3	二方方に	1		
15 3	2.1442			
	244			
3	東京谷			
	6 内东台			
35 7	開会部			
5	124			
	116 3 7 0 1 3 35 7 1 5			

「>=」は以上を表し、「女性で、30以上で、東京都に住んでいる人をカウントする」という意味です。

②東京都在住の30歳以上の女性の数が表示されました。

4	A	D.	0	D	F	
1						
2	名前	値別	年齢(成)	居住地	1	
3	日中	男性	18	家亲想		
4	开始	女'生	21	大阪府		
6	32	<u>A</u> (1	- 63	<b>东京</b> 核	1	
8	表水	7:17	5	推用信		
7	方井	外位	35	東京科		
8	鈴木	地田中	344	打田県		
9	住田	5.12	47	123+30		
0	카니	安住	33	东京部	1.	
1	ыĤ	5.1	8	人版印		
2	XT	121425	72	東京和		
2	유번	馬住	55	北海道		
4						
5			2			
e.						

COUNTA 関数:数値や文字列など「何かしら入力されている」セルの個数を数える

#### 使い方・利用シーン

COUNTA 関数は、選択した範囲に入力されているセルの数を数える関数です。

COUNT 関数が数値だけを数えるのに対して、COUNTA 関数は数値だけでなく文字、記号、数式な ど何かが入力されていれば集計の対象になります。

※関数が入力された結果空白表示になっているセルもカウントされてしまうため、その場合は参照 するデータをすべて値貼り付け (参照するデータをコピー▶貼り付けのオプションから 「値」を選択 してペースト)してから COUNTA 関数を使用することをおすすめします。

COUNTA 関数はこんなシーンで活用できます。

- 顧客リストに登録されている人数を知りたい
- 予定表の中から●が付いているセルの合計を知りたい

#### 入力例

具体的な使い方を見てみましょう。ここでは、勉強会開催予定表の中から「●」が入っているセルの 個数を数えてみます。

#### ① 数を表示したいセルに「=COUNTA(B3:B9)」と入力します。

(基礎編)



② 「●」が入力されているセルの個数が表示されました。

## COUNTBLANK 関数:空白セルの個数を数える

#### 使い方・利用シーン

COUNTBLANK 関数は、空白セル(数値や文字列などが何も入力されていないセル)の個数を数え る関数です。スペースが入っていたり、関数が入力されて空白表示になっていたりする場合はカウ ントされないので注意しましょう。

例えば、こんなシーンで活用できます。

- 開催が未定となっている日の数を求めたい
- 試験を欠席した人数を集計したい

#### 入力例

具体的な使い方を見てみましょう。ここでは、下の表から開催が未定の数(空白になっているセル) の数を数えてみます。

① 結果を表示したいセルに「=COUNTBLANK(B3:B9)」と入力します。

20	Α.	8	C	D	E	F	G	
1	研修開催予定日							
2	8	ビジネスマナー <盆晒鉱>	ビジネスマナー <応用編>	コミュニケー ション研修	メール研修	電話対応研解		
3	7/1	•		•	•	•		
6	1/2		•		•			
5	1/3	•	•			•		
5	7/4			•	•	•		
7	7/5	•			•			
8	7/6	•				•		
9	1/7		•	•	•			
0	用任数	4 4		催款 4 6 3	i .	5	2	
	開催未定	-COUNTELANS	(B3-B7)					
15		COUNTRAVIENDE						

② ②開催が未定の数(空白のセル)が表示されました。

4	A	6	C	D	E	F			
1	研修精健予定日								
2	日程	ビジネスマナー <直端編>	ビジネスマナー <応用編>	コミュニケー ション研修	メール研修	電話対応研修			
3	7/1	•		•	•	•			
4	7/2		•		•				
5	7/3	•	•			•			
6	7/4		•	•	•	•			
7	7/5	•			•				
8	7/6					•			
2	117		•	•	•				
10	開修数	4	4	3	5	4			
11	開催未定	3							
12									